

女性活躍推進事業【芦屋市】

地域の実情と課題

平成27年の国勢調査では、市内の30歳代以降の女性の労働力率が全国や県と比べ低い水準にある。また、市内の共働き世帯数が、夫が就業者で妻が非就業者の世帯数を上回り、今後も働くことを希望する女性はより増えることが見込まれる。

平成28年実施の男女共同参画に関する市民意識調査では、現在未就労の30歳代から40歳代の女性の就労意向率が高くなっており、希望に応じた働き方が実現できることや、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題である。

事業の特徴

女性活躍コーディネーターによる常設の再就労・起業等の相談窓口を開設し、女性の再就労・起業等の支援講座等を開催。女性活躍推進会議等において、事業効果の検証や課題の整理を行った。

女性の就労・起業等の支援講座だけでなく、男性の家事・育児等に関わるための講座を開催した。

事業の効果

再就労・起業等を希望しながら、実現できていない女性は様々な不安や問題を抱えているが、身近な市の男女共同参画センターに一時保育付きの相談窓口を開設することで、個々の実情に応じた就労等への短期的又は長期的な支援を行うことができた。また、合わせてスキルアップや働き方・ライフプランを考える講座を行うことで、再就労や起業を考えている女性だけでなく、育児休業中の女性が参加するなど、幅広い支援につながった。

目的・目標

芦屋市女性活躍推進会議を構成する多様な主体が中心となり、女性の再就労・起業等の環境整備や支援体制を充実させる。相談や講座受講者のうち、再就労や起業等につながった人数2人以上を目標とし、令和3年度は、起業準備中を含めて4人と目標達成となった。

連携団体

女性活躍コーディネーターが、実施計画に基づき、就労等、国・兵庫県・近隣市等の相談窓口や支援機関と連携を行い、市に相談窓口を開設し、女性活躍推進会議は学識経験者、商工会、NPO等の代表により構成し、連携して女性活躍の事業を推進した。

今後の課題

女性活躍コーディネーターによる常設の相談窓口について、昨年度よりも増加しているが、相談件数が少ないため、更なる周知等が必要である。講座等に関しては、定員を上回る講座もあれば、定員を下回る講座もあったため、講座の内容の精査が必要である。

事業の概要

市の他事業

- ・男女共同参画センター
- ・子育て施策 など

職業生活で活躍を望む女性

男性

- ・相談 (再就労, 起業など)
- ・講座参加

- ・情報提供
- ・同行支援 など

- ・講座参加

- ・情報提供
- ・家事や育児などに関わる機会の増加

市の女性活躍推進事業 (業務委託)

ASHIYA RESUME

市の女性活躍推進事業 (直営)

女性活躍相談

各種講座

男性向け講座

- ・事業評価

女性活躍推進会議

※学識経験者, 団体代表
就業・起業支援者, 行政関係者

- ・講師依頼
- ・事業連携依頼

- ・講師派遣
- ・事業連携

- ・講師派遣依頼
- ・事業連携依頼

- ・講師派遣
- ・事業連携

民間

芦屋市商工会
女性起業家
市内コワーキング
スペース など

国や県

ハローワーク西宮
日本政策金融公庫
兵庫県立男女共同
参画センター など

- ・会議への参画
- ・情報共有